

2015-1-23

平成 27 年 1 月度第 2 回わが街つくる会定例会（通算 192 回）議事録

日時：2015-1-22（木）19：30～21：00

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、奥村、堀井、戸所、中井、岡本、杉中、倉橋、竹吉、乾
自治連）福田、尾中
大津市）都市計画課中井主幹、井上主査 以上 14 名

議事内容：（司会：中井）

議事に先立ち、雨宮氏の御尊父が 1 月 20 日、98 才で逝去されたとの報告があり、全員で黙祷し、ご冥福をお祈りした。

1. 今日の一言（中井）

市役所にて、川端都市計画部長と面談した際、大津市都市計画マスタープランについての説明会開催の約束を頂いた。それを受けて、本日、中井主幹、井上主査兩名よりお話を伺う機会が得られた。今後の平野の街づくりに向けて参考にして頂きたい。

2. 大津都市計画マスタープランについて（中井主幹）

都市計画マスタープランは、目指すべき都市像及び整備方針を定め、地域毎の街づくりの目標や基本方針を示す「地域別構想」を定めている。H17～18 年度にかけて行政と市民代表者との対話に基づき協働して策定され、期間は H18(2007)～H28(2016)の 10 年間としている。次期マスタープラン（H29 からの 10 年間）についても、今後 3 年間かけて議論し策定して行く予定である。平野学区についても、地域住民参加の下、街づくり会議を設け、どのような街づくりをして行くのかを議論して貰うこととしている。以下に、現在のマスタープランの全体構想と及び平野学区を含む中部地域の街づくりの基本的な方針の概略を述べてみる。

（1）全体（大津市）について

<大津市の現状からの主な課題>

- ・ 中心市街地では人口減少に伴う商業規模の縮小、居住者の高齢化の進展、道路網整備の遅れ、災害対策の遅れなど。
- ・ 山麓部の住宅開発、高層マンション建設による自然環境、景観の破壊など。
- ・ 交通集中の発生、道路整備の遅れなど。
- ・ 土地利用の制限と有効活用の遅れなど。

<まちづくりの理念と目標>

理念：自然の力の保全・再生、まちの力の継承・創造、人の力

の育成・連帯

目標：①自然的・歴史的資源の維持・保全・活用による環境共生都市の実現

②新時代にふさわしい都市構造の実現

③人づくりからまちづくりへ発展する協働によるまちづくりの実現

その他、将来都市構造のあり方、都市整備の方針、地域別街づくりの目標などが盛り込まれている。

(2) 中部地域（志賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂・中央・平野）

<街づくり基本の方針>

志賀・山中・藤尾・長等⇒自然、歴史資源と一体化した都市活動、都市観光の拠点形成

逢坂・中央・平野⇒古都の玄関口に展開する賑わいある都心空間形成

<街づくりの主な施策（平野関係）>

- ・土地利用：商店街の歩道空間整備と商業機能の再生誘導等
- ・都市施設：JR 膳所駅の橋上駅舎化、効率的バス交通体系の構築等
- ・市街地整備：JR 膳所駅周辺の都市基盤整備促進等

平野学区は H5～25 の 20 年間で宅地化が大きく進んだ。それと共に人口が増加（H14 年 13,850 人⇒H26 年 18,203 人）したが高齢化も進んでいる。（65 才以上 H14 年 17.8%⇒H26 年 22.0%）特に鶴の里は高齢化率 39%と突出している。平野学区の課題であろう。次期マスタープラン作成に当たり平野学区の将来構想について大いに議論して頂きたいと思っている。

大津市の都市計画マスタープランについての認知度は 10%未満と低い。今後も機会があれば交流をさせて頂きたいと思っている。

3. 次回定例会の開催について

2月5日（木）19：30～、於）平野市民センター

以上（乾）